

まる べに

株主レポート

No.108

2010 SUMMER

丸紅TOPIC

第14回新エネ大賞 「新エネルギー財団会長賞」を受賞

当社が100%出資する三峰川電力株式会社（長野県伊那市）は、2010年1月、資源エネルギー庁主催の第14回新エネ大賞において「新エネルギー財団会長賞」を受賞しました。

Marubeni

CONTENTS

- | | | | |
|----|---|----|--------------------------------|
| 02 | 社長メッセージ
2009年度決算、“SG 2009”の総括
および新中期経営計画『SG-12』について | 11 | 特集 丸紅プロジェクト紹介
[チリ銅鉱山プロジェクト] |
| 08 | セグメント情報 | 14 | CSR情報 |
| 09 | 丸紅グループの動向 | 15 | 商品情報 |
| 10 | 丸紅クリッピング | 16 | 世界の食卓 |
| | | 18 | IRインフォメーション |

【注意事項】本資料の将来の見通しに係わる記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。



2009 年度決算、“SG2009” の総括 および新中期経営計画『SG-12』について

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。当社は、去る 5 月 7 日に、2009 年度決算ならびに新中期経営計画『SG-12』を発表致しました。この機会に、2009 年度決算と中期経営計画“SG2009”の総括、および新中期経営計画『SG-12』の概要につき、簡単にご報告申し上げます。

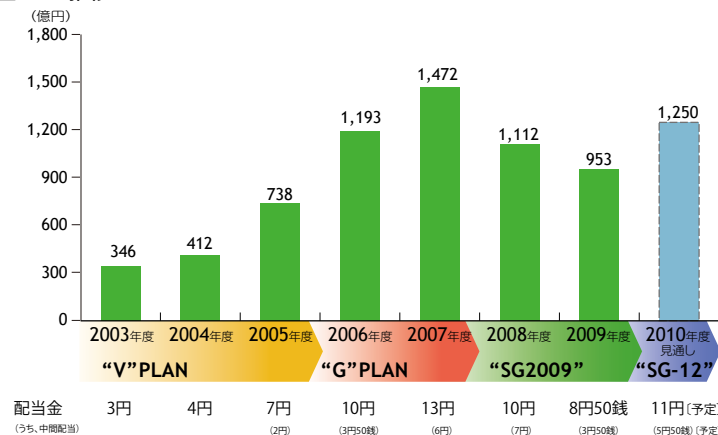
1 2009 年度決算と“SG2009”の総括

まず、2009 年度決算ですが、連結純利益は 953 億円となりました。前年度対比では資源価格の下落の影響を主因として 14%の減益ですが、期初の業績予想 800 億円、さらには今年 1 月に行った上方修正後の業績予想 900 億円のいずれをも上回っています。

2008 年 9 月のリーマンショックに端を発した世界同時不況・資源価格急落という見通しの難しい経営環境下、2009 年度はスタートしました。当社として

は、「世界経済の本格的回復は 2010 年度以降であり、2009 年度は足許の厳しい経営環境が継続する」という景況感のもと、世界経済ならびに市況の前提を保守的に設定して臨みました。その後、世界経済は中国を中心とする新興国経済に牽引される形で、緩やかながらも回復基調に向かい、また、原油や銅などの資源価格も中国の旺盛なベースメタル需要、世界経済の回復期待に支えられ、再び上昇に転じました。当社もこのような回復トレンドのメリットを、資源関連ビジネス・非資源関連ビジネスの双方で享受する

●表 1 連結純利益(※)の推移



(※) 本資料における「連結純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」であります。

ことができたと考えています。

この 953 億円という連結純利益には、米メキシコ湾における原油権益に関わるロイヤルティー還付といった特別利益が含まれる一方、引き続き不透明な国内外の経済情勢に対する備えとして、2009 年度末に損失処理を行った不動産関連・事業会社関連の特別損失も含まれていますので、実態として 1,000 億円を超える収益を稼ぐ体力は十分に備わったと分析しています。

次に、財務面について報告します。

2010 年 3 月末の連結純資産は、2009 年度の目標であった 7,300 億円を大きく上回る 7,997 億円となり、前年度末対比では+ 1,764 億円となりました。また、連結ネット有利子負債は 1 兆 7,064 億円と、前年度末対比 2,052 億円減少しています。結果、連結ネット D/E レシオは 2.13 倍と、前年度末対比 0.94 ポイント低下し、期初に掲げた「2.5 倍程度」という目標から、大きく改善させることができました。

一年前の 2009 年 3 月末における連結ネット D/E レシオは、市況急落による連結純資産の減少を主因に、2008 年 3 月末時点の 2.33 倍から 3.07 倍まで、実に+ 0.74 ポイントの上昇を余儀なくされましたが、今回その悪化幅以上の改善を 2009 年度に実現したこととなります。

株式市況の改善等、市況がフォローであった面もありますが、財務体質改善に向け、全社一丸となつて取り組んだことや、外貨換算調整勘定のポジショ



President & CEO Teruo Asada

代表取締役社長 朝田照男

ンヘッジを含む、リスクマネジメントの強化が功を奏したものと評価しています。

続きまして 2010 年度の業績予想について申し上げます。連結純利益見通しは 1,250 億円です。主要指標の前提ですが、為替は 90 円 / 米ドル、北海ブレントは 75 ドル / バレル、LME 銅は 6,500 ドル / トンとしています。業績予想策定時における原油・銅の価格は、この前提以上に上昇していましたが、急激に経営環境が変化する時代に鑑み、保守的な設定としました。

また、財務面では、連結ネット有利子負債は 1 兆 8,000 億円程度に増加するものの、一方で、連結純資産も 9,000 億円程度まで拡大することから、連結ネット D/E レシオはさらに改善し、2 倍程度となる見通しです。

2008 年度から 2009 年度までの中期経営計画“SG2009”は、前中期経営計画“G”PLAN (2006 年度 -2007 年度) によって強固となった収益基盤と財務体質を、さらにステップアップさせる計画でしたが、冒頭で申し上げました通り、2008 年度後半に厳しい環境変化に直面したため、計数目標の変更を余儀なくされ、2009 年度はより「守り」に軸足を置いた経営を行ってまいりました。

厳しい環境下ではありましたが、『厳格なリスクマネジメント体制を敷き、優良資産の積み上げと資産効率の追求によって、いかなる経営環境の変化にも耐えうる強靱な収益基盤を構築し、持続的成長を実現する』という“SG2009”の基本方針については、着実な成果が得られたと評価しています。

一方、2008 年に投資を行ったチリの銅権益をはじ

めとして、“SG2009”期間中には戦略分野に計 3,760 億円の投融資を行っています。これらの投融資案件は、当社の今後の持続的成長を支える新たな収益基盤として、今年度以降、順次収益貢献を開始していきます。

2009 年度の期初に掲げた全ての目標を達成し、「財務体質の改善」と「収益力の強化」を完遂したことで、新中期経営計画にチャレンジする十分な基盤が出来上がったと考えています。

2 新中期経営計画『SG-12』の概要

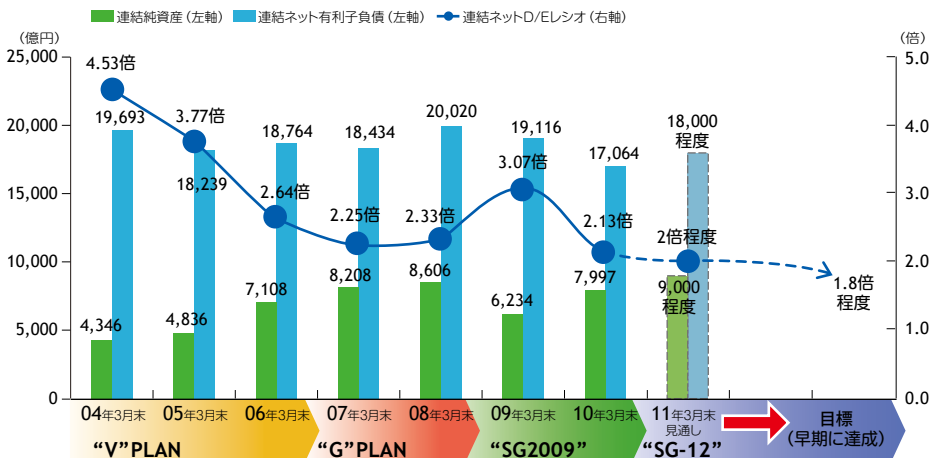
次に、今年度よりスタートする新中期経営計画『SG-12』について、その概要をご説明します。

まず、計画名称は『SG-12』（エスジー・ダッシュ・トゥエルブ）としました。期間は 2012 年度までの

3 ヶ年としています。持続的成長を掲げた“SG2009”においては、外部環境の急変により経営指標のターゲットを修正せざるを得ませんでした。『SG-12』では、“SG2009”で途半ばとなった持続的成長に再び挑戦すべく、「Sustainable Growth = 持続的成長」を意味する「SG」をタイトルに使用し、「強い丸紅」の実現を目指していきます。

『SG-12』の基本方針は、『当社グループは、経営環境の変化に耐えうる強固な収益基盤と盤石な財務基盤を確立し、全てのステークホルダーの皆様の“期待を超えるパートナー”として持続的成長に挑戦する「強い丸紅」を実現する。』としました。“SG2009”においても「期待を超えるパートナー、丸紅」というフレーズを掲げましたが、総合商社としての全ての営業活動の原点は、お取引先をはじめ

●表 2 連結純資産と連結ネット D/E レシオ



●表 3 “SG2009” 計数目標と実績

	SG2009 当初目標 2010年3月末	SG2009 修正目標 2010年3月末	SG2009 実績 2010年3月末
連結純利益 (2年間合計)	3,500億円	1,900億円	2,065億円
連結ネット D/Eレシオ	2倍台前半	2.5倍程度 ※	2.13倍 ※
リスクアセット	株主資本の範囲内	連結純資産の範囲内	6,356億円
ROA	3%以上	2%程度	2.05%
連結純資産	1兆円以上	7,300億円以上	7,997億円
ROE	18%程度	12%程度	14.5%

※連結純資産ベース

とするステークホルダーの皆様からの信頼だと考えており、それを具現化することが「強い丸紅」の実現だと思っています。

2008年度から2009年度にかけて、世界経済はリーマンショックに端を発した世界同時不況を経て、緩やかな回復に転じ、2010年度からは世界全体で4%台の成長が見込まれています。その過程においては、中国の台頭に象徴されるように新興国と先進国のパワーバランスの変化が明確になってきており、この潮流は今後3年間についても変わらず、かつその変化は加速していくと思われます。

このような中、新興国では引き続き「資源」・「社会インフラ」のニーズが高まると考えられます。現在、世界のGDPの2%である1兆ドルが毎年インフラ建設・維持に向けられていますが、2005年から2030年にかけては40兆ドルの需要が生まれ、そのうちアジアでの需要は4割程度を占めるとされています。

このように世界経済が急速に構造変化を続け、一方で当社のビジネスモデルについても益々多様化が進む中、当社が持続的成長を続けるために必要な施策として、

- ・経営主導による人材戦略の推進
- ・経営資源の重点配分
- ・海外市場における取組強化
- ・財務体質の強化、リスクマネジメントの深化

の4点を、『SG-12』の主要施策として注力していきます。

また、『SG-12』の定量目標としては、

- ・2010年度連結純利益：1,250億円
- ・連結ネットD/Eレシオ：早期に1.8倍程度
- ・リスクアセット：連結純資産の範囲内
- ・ROE：安定的に15%以上

を掲げ、実現に向け注力していきます。

経営環境の変化が速いこともあり、連結純利益目

標は2010年度のみとしました。2010年度連結純利益目標1,250億円については、先程ご説明の通り、資源価格前提を保守的に設定していること、また、2009年度に市況の回復が遅れたパルプや鉄鋼製品等のビジネスも、今年度は相応の改善が見込まれることから、十分達成可能な目標と考えています。

また、大きな経営環境の変化がない限り、計画期間中の早い時期に当社の史上最高益1,472億円の更新も視野に入ってくると考えています。

3 再び持続的成長へ

ご説明してまいりましたように、当社の2009年度決算は、収益面・財務面ともに期初に掲げた目標を全てクリアーし、2010年度以降、新中期経営計画『SG-12』のもと、再び持続的成長に挑戦する準備が整いました。

世界経済は緩やかな改善トレンドが続いています

が、先行きの不透明感は依然払拭できておらず、同時に世界経済の構造自体が大きく変わりつつあります。このような経営環境下、新中期経営計画『SG-12』で掲げた目標に向かい、役員・社員が現状に甘んじることなく一丸となり、スピード感をもって諸施策を実行に移すことにより、“期待を超えるパートナー”として、収益基盤・財務体質・ステークホルダーにとっての存在感、いずれの面においても「強い丸紅」の姿をお示しできると確信しています。

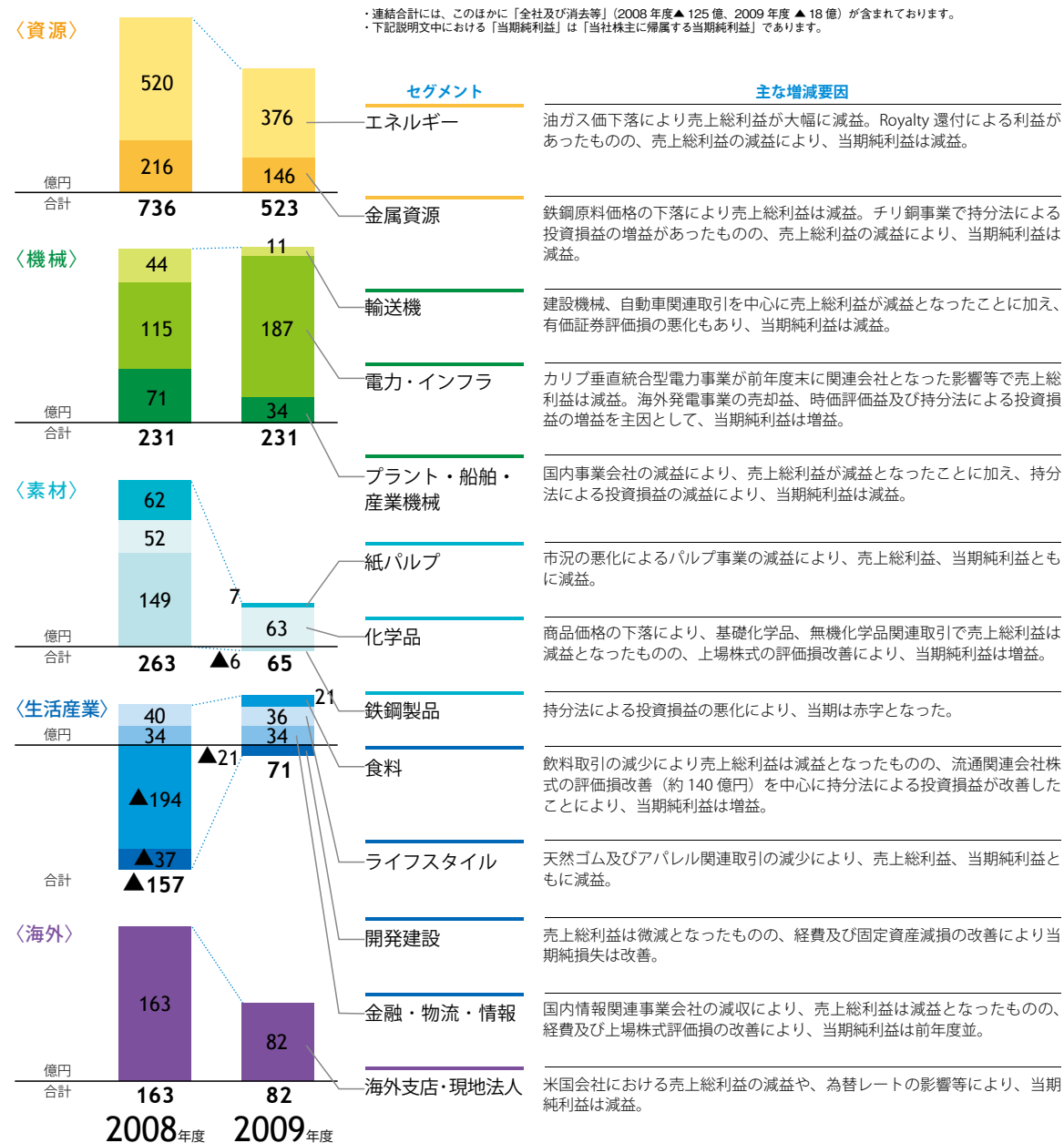
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を頂戴致したく、宜しくお願い申し上げます。

●表4 『SG-12』基本方針

SG-12基本方針		
当社グループは、経営環境の変化に耐えうる強固な収益基盤と盤石な財務基盤を確立し、全てのステークホルダーの皆様の“期待を超えるパートナー”として持続的成長に挑戦する「強い丸紅」を実現する。		
SG-12施策	重点配分分野	
● 経営主導による人材戦略の推進	資源	・金属資源分野・エネルギー分野 等
	インフラ	・海外I(W) PP分野・水事業分野・社会インフラ分野 等
	環境	・植林事業分野・クリーンエネルギープロジェクト分野・排出権分野 等
	生活	・穀物・農業関連資材(肥料・農薬等)分野 ・流通・トレード分野(食品・紙パルプ・ライフスタイル・輸送機) 等
● 経営資源の重点配分		
● 海外市場における取組強化		
● 財務体質の強化、リスクマネジメントの深化	重点地域の設定	中 国
		北 米
		アセアン
		南 米
		インド

●表5 『SG-12』定量目標

定量目標				
当社株主に帰属する当期純利益		2010年度 1,250億円		
連結ネットD/Eレシオ		早期に1.8倍程度		
リスクアセット		連結純資産の範囲内		
ROE		安定的に15%以上		
為替 90円/US\$		2010年度前提条件 US\$ LIBOR 0.6% 円TIBOR 0.5% LME銅 US\$6,500/トン 北海ブレント US\$75/bbl		



当社グループの2009年度下半期ニュースリリースを一部ご紹介します。

2009.10.1-2010.3.31

- 10.1 豪州風力発電事業ハレット 4 への参画
- 10.2 インドネシア・スマトラ沖地震における被災者への義捐金拠出
- 10.26 ベラルーシ共和国国営企業向けポリエステル糸製造プラントを受注
- 11.4 英領北海に於ける原油の発見（油田の探鉱に成功）
- 11.13 中国で下水処理事業に参入
- 12.2 有機人工土壌を用いた植物工場販売事業に参入
- 12.10 次世代白色 LED 技術開発・商品化に関する、共同開発契約の締結
- 1.19 ハイチ大地震 義捐金拠出
- 1.26 農産物残渣（残りかす）を飼料化させる生菌剤を帯広畜産大学・日本仁安堂薬健と共同で開発した件
- 2.4 丸紅が、世界的な CSR 調査・格付機関の SAM 社から「持続可能性に優れた企業」に認定されました
- 2.8 エースcockベトナム第三者割当増資引受に関する基本合意の件 P10
- 2.9 世界最大規模のトロピカル・バイオマス・コージェネレーションプラントを受注
- 2.9 「ハノイ〜ホーチミン間 国営ベトナム鉄道橋梁安全性向上工事」を受注
- 3.1 上海 嘉定プロジェクト（不動産開発事業）着工
- 3.1 チリ大地震 義捐金拠出

2009.10.1 リリース

豪州風力発電事業ハレット 4 への参画

当社は、大阪ガス株式会社、APA グループ（豪）と共同で、豪州のハレット 4 風力発電プロジェクトの事業運営会社であるブラウン・ヒル・ノース社の株式 100% を取得しました。本プロジェクトは豪州最大規模の風力発電事業（発電容量 13.2 万 kW）であり、豪州上場企業 AGL エナジーとの長期売電契約（25 年間）に基づく安定収益が見込まれています。現在建設中であり、2011 年 6 月の商業運転開始を予定しています。



隣接するハレット1の写真

2010.2.9 リリース

世界最大規模のトロピカル・バイオマス・コージェネレーションプラントを受注

当社は、シンガポール・TP ユーティリティ社より、同国初となるトロピカル・バイオマス（パームやし殻）と石炭の混合燃料を使用するコージェネレーション（電気・蒸気併給）プラントを E P C（設計・調達・建設）にて受注しました。環境にも配慮したトロピカル・バイオマス・コージェネレーションプラントとしては世界最大規模です。2012 年末完工を予定しております。

完成イメージ図
FOSTER WHEELER/住友重機械工業(株)

※著作権の関係により、
ネットワーク上への記事
原文、掲載画像の掲載は
行いません。



エースコックベトナムホーチミン本社工場



2010年2月6日
日本経済新聞朝刊
15面掲載記事より作成



エースコックベトナムが
販売する商品一例

2010.2.8リリース

拡大するアセアン食品市場に本格参入 エースコックベトナムの増資引受へ

当社は、エースコックベトナム (Acecook Vietnam Joint Stock Company、以下 ACV) が計画している第三者割当増資を引き受け、同社の経営に参画することで、エースコック株式会社 (以下エースコック (株)) 並びに ACV、現地株主と合意し、新たに合併契約書を締結して今後の ACV のさらなる発展に協力していくことを確認しました。今回の増資引受により、当社は ACV の約 2 割の株主となり、役員 1 名を選出します。

当社の狙い

アセアンは当社の今後の海外戦略において最重点市場です。その中でも今後の成長が期待されるベトナムで、同国全土に広がる販売網や市場におけるブランドを既に確立しているエースコック (株) とパートナーシップを結ぶことには大きな意義があります。今後成長の見込まれるアセアンを中心とした消費市場で事業を展開することにより、内需の取り込みを目指していきます。

展望

ACV が持つベトナム地域での強みを当社としても活かし、さらに日本企業を誘致することで、日本の加工食品が、伸びゆくアセアン市場に進出する際の一助となることを目指します。また当社は、エースコック (株) と長年に亘る原料納入・製品販売取引等で良好な関係を継続しており、今後もさらなる協力関係を構築していきます。

安定供給ニーズに貢献できる体制強化を目指す

金属部門長 来山 章司

将来を見据えた決断

～「実績」と「本気」で得た巨大プロジェクト～

銅は、生活や産業に不可欠なベースメタルで、今後も新興国の経済成長に伴い、確実に需要が増大するといわれています。日本は、銅精鉱における世界第 2 位の輸入国で、全量を輸入に依存しています。

当社は、過去に撤退したものも含めると 1970 年代から銅案件に投資を行っており、長い期間に亘って銅事業に係るノウハウを構築してきました。1997 年にはカナダのハックルベリー鉱山とチリのロスペランブレス鉱山の権益を取得していますが、ロスペランブレス鉱山は、世界最大の銅産出国であるチリにおいて最もコスト競争力の高い鉱山で、当社はその権益 8.75% を保有しています。

2008 年 4 月、当社は、世界有数の銅生産会社

であるアントファガスタ社 (チリ) から、チリ北部シエラ・ゴルダ地区にあるエスペランサおよびエルテソロ鉱山の各々 30% の権益を獲得しました。これは、当社にとって、将来を見据えた大きな決断でした。エスペランサ・エルテソロ両プロジェクトに対する当社の投資総額は約 19 億ドル (約 2,000 億円) と、当時の当社の純資産の約四分の一に相当するものでした。まさに、当社の“本気”を表す巨大投資といえます。

当社は、ロスペランブレス案件を通じて、アントファガスタ社と強固な信頼関係を構築していました。その“実績”に加え、この“本気”の姿勢こそ、アントファガスタ社が、本巨大プロジェクトのパートナーとして当社を選んだ要因といえます。



丸紅グループ・銅資源開発の歩み

1997	カナダ「ハックルベリー鉱山」権益取得 チリ「ロスペランブレス鉱山」権益取得
1999	韓国「LS Nikko 精錬所」権益取得
2004	タイ「タイカッパー精錬所」権益取得 チリ「エスペランサ及びエルテソロ鉱山」権益取得
2008	* エスペランサ鉱山：2010 年より生産開始予定 * エルテソロ鉱山：2001 年より生産開始

銅資源確保と日本への安定供給

エルテソロ鉱山は 2001 年から生産を開始しており、年間約 9 万トンの銅地金を生産しています。現在、当社の持分生産量はロスペランプレス（約 3 万トン／年・銅地金換算）、エルテソロ（約 3 万トン／年・同）を併せて、約 6 万トン／年となっています（ロスペランプレス鉱山は 2010 年度に拡張予定。当社の持分生産量は 3 万 5 千トン／年に拡大する見込み）。

エスペランサ鉱山は、2010 年第 4 四半期からの生産開始を目指しており、現在順調に開発が進んでいます。2011 年にフル操業を始めると、当社の持分生産量は 3 つの鉱山で約 12 万 5 千トン／年（銅地金換算）に増加する見通しであり、持分

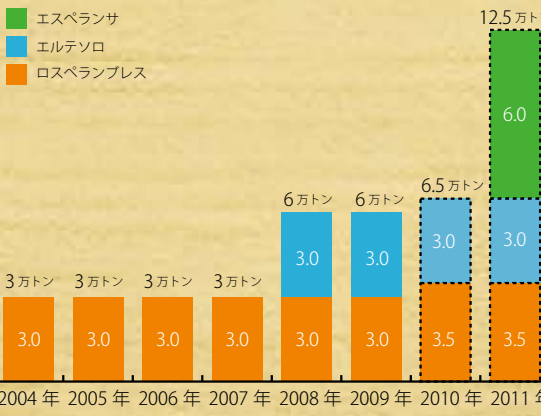
「持たざるリスク」こそ最大のリスク

エスペランサに隣接するテレグラフォ鉱山も今後の開発が予定されています。また当社は、アントファガスタ社と共同でシエラ・ゴルダ地区を継続して総合開発していくことにも合意しています。シエラ・ゴルダ地区はチリの産銅ベルト地帯に位置しており、大きな開発ポテンシャルを持っています。既に検討段階にある案件だけでも多くの推定埋蔵量を持っており、当社はこの共同開発を通じて、さらなる銅資源確保に貢献したいと考えています。

生産量において日本企業のトップクラスに位置することとなります。

2009 年にはエスペランサ鉱山及びエルテソロ鉱山両プロジェクトに関し、合計 17 億米ドルに及ぶプロジェクト・ファイナンス契約、及びアキュイジション・ファイナンス契約を締結しました。金融市場が縮小していた環境下で巨額のファイナンス契約を組成できたのは、両プロジェクトの高い競争力が認知されたこと、またエスペランサ鉱山から生産される銅精鉱の約 40%を日本向けに長期安定供給することが可能であり、日本の輸入量の 7%にも相当する銅資源確保に寄与できることが評価されたためです。このファイナンスを以て当社は、投資額の約半分を調達し、それと同時にプロジェクトリスクの軽減を可能としました。

当社チリ銅山持分生産量（銅地金換算）

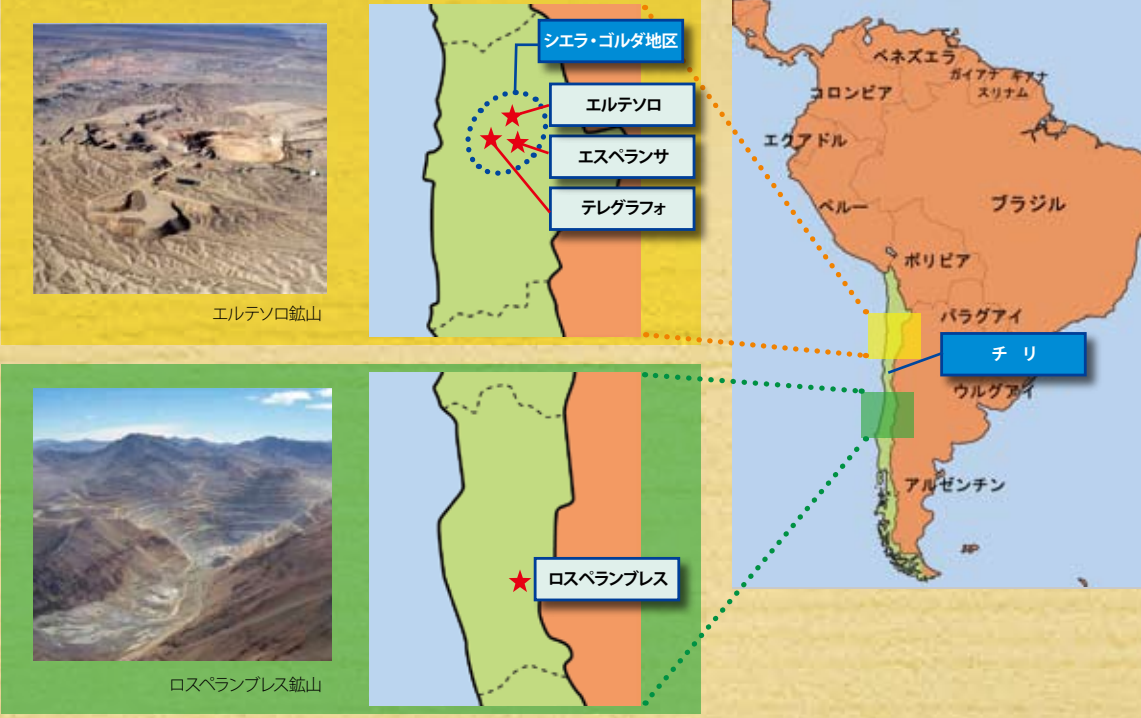


投資にはリスクがつきものですが、資源の安定確保には優良な資源権益が不可欠であり、資源確保にとっては「持たざるリスク」こそが最大のリスクといえるのではないのでしょうか。当社は今後も、鉱山・炭鉱開発や製錬プロジェクトなど海外投資を通じて優良資源を確保することで、日本の

資源確保に資すると同時に、事業収益の継続的拡大を図っていきます。

エスペランサはスペイン語で「希望」、テソロは「宝」の意味です。2 つの鉱山は、当社にとって足元の宝、将来の希望になると確信しています。

チリにおける丸紅の主要銅山



当社は、2010 年 2 月にチリ共和国で発生した大地震による被害に対して、1,500 万円を義捐金として拠出致しました。被災地の皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、1 日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。なお、当社チリ銅山プロジェクトは、震源から離れていることもあり、地震による被害はありませんでした。

みぶがわ

三峰川電力、「新エネルギー財団会長賞」を受賞

小水力発電に取り組む三峰川電力が、第14回新エネ大賞において「新エネルギー財団会長賞」を受賞しました。

当社が100%出資する三峰川電力株式会社（長野県伊那市）は、2010年1月、資源エネルギー庁主催の第14回新エネ大賞において「新エネルギー財団会長賞」を受賞しました。新エネ大賞は、新エネルギーに関わる機器の販売やサービスの提供、設備の導入および啓蒙の取り組みについて優れたものを表彰するものです。今回の受賞は、三峰川電力の小水力発電事業への取り組みが評価されたものです。

三峰川発電所は1960年に設立され、2000年から当社が経営に参画しています。天竜川水系の三峰川と黒川から取水し、第一から第四の4つの発電所で発電

を行っています。発電した電力は中部電力に供給されるほか、長野県庁や同県内各地の公共施設等で使用されています。CO₂を排出しない水力によるエコ発電で、電気の「地産地消」のモデルケースとなっています。



第一・第三発電所



第四発電所 発電機

※ RPS とは、「Renewable Portfolio Standard（再生可能エネルギー利用割合基準）」の略。政府は2003年4月から、電気事業者に一定の割合で風力や太陽光、地熱、出力1,000キロワット以下の中小水力、バイオマスなど新エネルギーの導入を義務付ける法律（RPS法）を施行した。RPS法の基準を満たした設備で発電された電力には、再生可能エネルギー相当量という付加価値が生じ、この相当量を排出権と同じように売却することができる。

また、第三発電所（2006年完成）と第四発電所（2009年完成）はRPS法（※）の認定を受けており、これら施設で発電された電力は、太陽光発電などと同様に新エネルギーとしての価値を付加して販売できます。

当社では今後、水力発電の保守運営及び新規開発ノウハウを活用した事業展開を予定しており、引き続き環境に配慮した付加価値のある電力の供給を推進してまいります。



三峰川発電所のエコポイント

- Point 1 ノー化石燃料、ノー CO₂ 排出**
ダムを使わない水の落差を利用した水力発電のため、CO₂を排出せず、効率的にエネルギーを活用することができます。
- Point 2 発電用水を再利用**
第三発電所の発電用水を第一発電所の機械冷却水として使用しています。さらに第一発電所の発電用水を第四発電所で再利用することで、水資源を有効活用するだけでなく、発電所の採算性も向上させています。
- Point 3 RPS 認定設備として環境に貢献！**
第三発電所、第四発電所はRPS法の認定を受けており、各発電所で発電した電力については、発電量相当分の環境付加価値がつかます。
- Point 4 ハイブリッド発電システムの設置**
発電所内に水車、風力、太陽光を使ったハイブリッド発電システムを設置しています。これらは、さらなる新エネルギー発電の研究や開発に役立てるため活用されています。

デンマークの人気ブランド Green Gate の 2010 春夏コレクション

(株) アスブルンド
インポート事業部
Tel: 03-3769-0681
<http://www.greengate-japan.com/>



テーブルクロス ¥10,080（税込）／プレート ¥1,890（税込）／エプロン ¥4,515（税込）

Green Gate（グリーンゲート）は、デンマークを代表するホームファッション&テーブルウェアの老舗ブランドです。まるでアンデルセン童話をグッズにしたような世界観で、エプロン、テーブルクロスといったキッチンファブリックと、ティーポット、ディッシュなどのテーブルウェアの2カテゴリーで展開しています。2010年の春夏コレクションは、デンマークをはじめとした北欧の春の芽吹きをイメージしたデザインと明るいカラーが特徴です。

ワニロゴが大きくなった ラコステの ヴィンテージウオッシュドポロ

ラコステ
Tel: 03-6894-0318
<http://www.lacoste.co.jp>



ヴィンテージウオッシュドポロシャツ ¥13,650（税込）／メンズ・レディースともに）

2008年に登場し大人気を博したラコステの「ヴィンテージウオッシュドポロシャツ」が、新たにワニロゴが大きくなって登場しました。今回のワニロゴはヴィンテージでは初の9cmというビッグサイズ（メンズ）。製品染めを施しているため、ワニロゴが生地と同色に染まっているのが最大の特徴です。バイオウオッシュで程良く色落ちした風合いが絶妙で、いかにも着古した風の生地感ながらもソフトな仕上がりになっています。メンズは全6色、レディースは全3色展開です。

人気の KiraKira フォトフレームが 7インチで新登場!

丸紅インフォテック(株)
コンシューマ営業企画部
Tel: 03-5665-8677
<http://www.monodo.jp>



左：クリスタルクリア
右：ピンクグラデーション
店頭想定価格：¥12,800（税込）

丸紅インフォテック株式会社は、MAG Digital 社（香港）製「KiraKira デジタルフォトフレーム」7インチモデルを2010年1月に発売しました。キラキラと輝くフレームの装飾が特徴で、写真、動画、音声の再生機能に加え、ワンボタンで時計表示にできる「時計、ときどきデジフォト」機能が好評です。デジカメや携帯電話で撮影したメモリーカードを挿すだけで自動再生の簡単操作。内蔵のメモリーにあらかじめ写真を入れて贈りものにすることも可能です。化粧箱は3.5インチモデルでも好評だったギフトパッケージ仕様です。

丸紅グループ社員が世界各地の料理とそのお国柄などを紹介するコーナー。

シュラスコ

牛肉の塊を串刺しにしてこんがり焼き上げ、ナイフで切り分けてみんなで楽しむブラジルの代表料理です。

レシピ紹介

【シュラスコ】

- ・牛肉（人数に応じて）
- ・岩塩

Point 肉の塊を大きなナイフで切り分け、そのまま、またはソースやレモンをつけて、大勢で食べる料理です。ご家庭のオープンでも調理はできますが、これからの季節、バーベキューなどで炭焼きにするのがおすすめです。

【ビネガーソース】

- ・白ワイン ……280ml
- ・白ワインビネガー ……200ml
- ・レモン汁 ……20ml
- ・白胡椒 ……少々
- ・塩 ……5g

10人前（約500ml）

作り方（約30分）



肉を切り分ける。大きさは好みだが、写真の肉は1つが2kgほど。
Point サシの少ない赤身の肉を使った方が、肉本来の旨みを味わえます。



塩をまぶす。塩は肉の表面全体に強めにこすりつける。普通の塩よりも岩塩を使った方が、肉の旨みを引き出すことができる。



串に刺す。肉3つの1串で10人前程度。主に使われる肉の部位は「いちぼ肉」や「ほらみ肉」で、最近はスーパーでもたまに出回っていて、インターネットでも販売されている。



Point オープンでは、予め200℃以上に熱して30分程度、表面をカリッと焼き上げます。



（支配人の小林さん、シェフのセルジオさんと）

丸紅テツゲン 財務経理部
担当部長（兼）大阪管理課長
伊藤聖治（写真右端）
2002年10月から2008年4月まで、丸紅ブラジル会社（サンパウロ）に駐在。

丸紅 海外不動産開発部
海外不動産開発第二課長
江坂喜達（写真右から2人目）
ブラジル生まれのブラジル育ちで、大学卒業後に日本へ。

同期入社のお二人ですが、ほかにブラジルに駐在した同期の仲間が何人かいて、時折みんなで集まり、ブラジルの思い出を語り合うそうです。

絆を大切に、多様な文化の集合体

サンパウロに5年半駐在した伊藤さんと、ブラジルで生まれ育った江坂さん。お二人が口を揃えて語るブラジルの魅力は、「多種多様な文化の融合」。先住民に加え、欧州、アフリカ、中東、アジアなど世界中からの移民で構成された国であるため、異なる文化を尊重し、融合し合う土壌があるそうです。柔軟性と開拓精神に富む国民性で、世界に羽ばたく人材を数多く輩出しています。

寛容でフレンドリーなラテン気質もブラジルの魅力の一つ。子どもや女性、年配者に皆とても優しいとのこと。ある日、伊藤さんは、道でおばあさんが持っていたオレンジをまき散らして



古都サルバドールのペロウリーニョ広場

しまった光景を見かけたそうです。すると、周りにいた人々があつという間に拾い集めてあげたのだとか。そんな人情味溢れる国民性に

惹かれると伊藤さんは言います。

ブラジルの国土は日本の23倍。北部は亜熱帯に位置する一方、南部には冬があります。気候も風土も様々、地域ごとに得られる食材も異なるため、食文化も多種多様だと江坂さんは言います。

そんな中でも、「シュラスコ」はブラジルを代表する人気の肉料理。江坂さんによると主に南部の料理で、お祝い事や家族・友人たちとの週末の昼食会など、人々が集まる際には欠かせないメニューのようです。大変シンプルな料理ですが、肉自体の美味しさを堪能できます。

またシュラスコはあらたまった食事に限らず、サッカーの試合があるときにスタジアム周辺に出る屋台などでも売られており、手軽に楽しめる料理でもあります。伊藤さんも、本場サッカー観戦の際は、パンにはさんだシュラスコとビールで腹ごしらえをしてからスタジアムに入っていたそうです。

人との交流を大切に、集うことが大好きなブラジルの人たち。シュラスコは、ワイワイガヤガヤ集まるときにぴったりな料理のようです。

ブラジルと丸紅



当社は1955年にサンパウロに事務所を開設して以来、55

年間に亘りブラジルと長い関わりを持ち続けています。ブラジルは世界有数の資源大国であるとともに、堅調な内需に支えられ目覚ましい経済成長を続けており、現在当社は食料（穀物、鶏肉、コーヒー等）、金属（鉄鉱石、フェロニッケル等）、パルプ、化学品、航空機、機械等から、プラント輸出、鉄道、通信等各種インフラ事業に亘る幅広い分野においてビジネスを展開しています。

取材協力店

バルバコア・クラシコ（丸の内店）

<http://www.barbacoa.jp/marunouchi/>

東京都千代田区丸の内1-5-1
新丸の内ビルディング6F
Tel: 03-5224-5050

【交通】・JR 東京駅丸ノ内口 徒歩2分
・地下鉄丸ノ内線東京駅 徒歩1分、
大手町駅 徒歩3分、千代田線二重橋前駅 徒歩3分
【営業】月～金 ランチ 11:00～15:00 ディナー 17:00～23:00
土 ランチ 11:00～16:00 ディナー 17:00～23:00
日 ランチ 11:00～16:00 ディナー 17:00～22:00

（ラストオーダーはクローズの30分前）



会社概要 2010年3月31日現在

創 業	1858年5月
設 立	1949年12月1日
資本金（単体）	262,685,964,870円
従業員の状況	従業員数： 3,951名 平均年齢： 41.8歳 平均勤続年数： 17.2年

・上記人員には、国内出向者 667 名、海外店勤務者・海外出向者・海外研修生 687 名が含まれております。また、上記 3,951 名のほかに、海外店現地社員が 367 名、海外現地法人の現地社員が 1,361 名おります。

当社ネットワーク 2010年4月1日現在

国 内	
本社	東京都千代田区大手町一丁目4番2号
支社・支店・出張所	北海道支社、東北支社、名古屋支社、大阪支社、九州支社等 9 カ所
海 外	
支店・出張所	モスクワ支店、イスタンブール支店、ヨハネスブルグ支店、シンガポール支店、クアラルンプール支店等 55 カ所
現地法人	丸紅米国会社、丸紅欧州会社、丸紅アセアン会社、丸紅中国会社等 32 の現地法人 およびこれらの支店・出張所等 31 カ所

海外ネットワーク（71 カ国 118 カ所／2010年4月1日現在）



役員 2010年6月25日現在

取締役および監査役	
取締役会長	勝俣宣夫
取締役社長*	朝田照男
取締役副社長執行役員*	関山 護、船井 勝
取締役専務執行役員*	太田道彦
取締役常務執行役員*	崎島隆文、八田賢一、川合紳二、園部成政、山添 茂、秋吉 満
取締役	小倉利之、石川重明
監査役	安江英行、佐々木正典、工藤博司、北畑 隆、黒田則正

執行役員

専務執行役員	國分文也
常務執行役員	鹿間千尋、榎 正博、野村 豊、岡田大介、鳥居敬三
執行役員	津田慎悟、生田章一、中村諭吉、山本 勉、栗山章司、田中一紹、世一秀直、吉田郁夫、松村之彦、紺戸隆介、生野 裕、岩佐 薫、岩下直也、葛目 薫、内山元雄、南 晃、矢部勝久、家永 豊、甘舛保之、柿木真澄、寺川 彰、水本圭昭

- ・*印の各氏は、代表取締役であり、かつ執行役員を兼務しております。
- ・取締役小倉利之および取締役石川重明は、社外取締役であります。
- ・監査役工藤博司、監査役北畑隆および監査役黒田則正は、社外監査役であります。
- ・当社は業務運営の一層の強化を図るため、執行役員制度を導入しております。執行役員は 38 名で構成されております。

IR ニュースメールを配信しております

決算情報はもちろん、最新のビジネスの動きを伝えるニュースリリースなど、当社の情報をタイムリーにお届けします。パソコンのメールアドレスをお持ちの方ならどなたでも無料で登録いただけます。ぜひご利用ください。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。

<http://www.marubeni.co.jp/ir/mailnews.html>

株式の状況 2010年3月31日現在

発行済株式の総数

普通株式 1,737,940,900 株

株主数

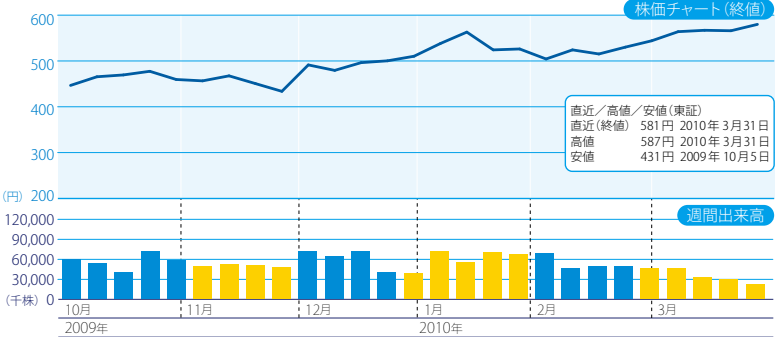
普通株式 133,237 名

大株主（普通株式）

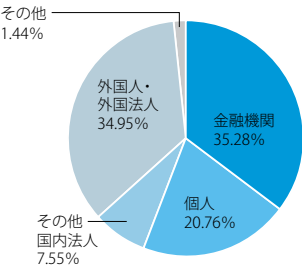
株主名	当社への出資状況 持株数（千株）	議決権比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	105,286	6.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	72,877	4.20
株式会社損害保険ジャパン	56,110	3.24
東京海上日動火災保険株式会社	49,859	2.87
明治安田生命保険相互会社	43,118	2.49
ジェービー モルガン チェース バンク 380055	35,245	2.03
株式会社みずほコーポレート銀行	30,000	1.73
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカUNT	27,606	1.59
日本生命保険相互会社	26,000	1.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	25,795	1.48

・持株数は千株未満を切り捨て、議決権比率は小数点3位以下を切り捨てております。

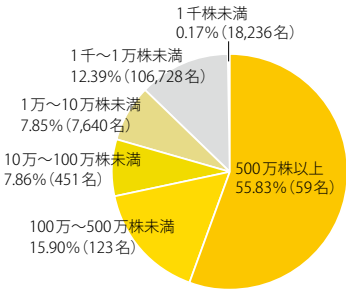
株価／出来高の推移 2009年10月1日～2010年3月31日



所有者別分布状況（普通株式）



所有株数別分布状況（普通株式）



円グラフの数値は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

SAM Sector Leader
産業別セクターにおける最高評価企業

Dow Jones Sustainability
World Index (DJSI World)

SAM Gold Class
総合評価による格付け最高ランク

FTSE4Good
FTSE4Good Global Index

丸紅は、世界的なCSR調査・格付機関のSAM社から「持続可能性に優れた企業」として認定されています。また、世界的なSRIインデックスであるDJSI World、FTSE 4 Good の組み入れ銘柄企業に選定されています。

※SAM社: 本社スイス所在の世界的なCSR調査・格付会社
※SRIインデックス: 企業の財務面だけではなく、社会的責任 (CSR) を投資決定の重要な判断要素とする社会的責任投資の指標



僕らのチームの新戦力 新しい電動車椅子、楽しみに待っていました。

丸紅は、社会貢献活動の本質をじっくりと見つめ、よりよい社会づくりのお役に立ちたいと願っています。その一環として、車椅子サッカーのチームに電動車椅子をお届けしました。まるで新戦力を招き入れるように、新しい車椅子を迎えてくれた選手たち。新メンバーの君も、キラキラと輝いています。

人がいて、夢がある。丸紅基金



Marubeni

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	単元株式数	1,000株
定時株主総会	毎年6月	上場取引所	東京・名古屋・大阪
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日	公告方法	電子公告
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日		(なお、当社の電子公告は、当社インターネットホームページの以下のアドレスに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号		http://www.marubeni.co.jp/ir/houteikoukoku.html
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店 証券代行部 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号		

丸紅株式会社 証券コード：8002 インターネットホームページアドレス <http://www.marubeni.co.jp>

■ 株式事務に関するご案内

◆末払配当金のお支払い、支払明細の発行 みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

◆住所変更、単元未満株式の買増・買取請求、配当金受取方法のご指定、相続に伴うお手続き等

【証券会社に口座をお持ちの株主様】口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

【証券会社に口座をお持ちでない株主様（特別口座に記録されている株主様）】みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

※確定申告の際には、株式数比例配分方式以外の配当金受取方式を選択された株主様については、本年6月3日付で送付致しました配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

●お問い合わせ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-288-324

株主レポート まるべに No.108 (年2回発行) 2010年6月25日発行 発行人／松村之彦
発行／丸紅株式会社 財務部 〒100-8088 東京都千代田区大手町1-4-2 TEL 03-3282-2477



環境保全のため、環境に配慮した大豆インキで印刷しています。